

積雪深データ

2009/2010 年冬期の日本各地における積雪深の変化

63 巻から始めたこのコーナーでは、冬期間の積雪状況を振り返るため、代表的な地点 (図 1) における積雪深の変化図ならびに最大積雪深とその起日を示します (図 2)。

2009/2010 年冬期は、気温が平年を下回る時期と上回る時期があり寒暖の変動が大きかったのが特徴でした。降雪量は全国的には「平年並」でしたが、気温の低い時期に対応して北陸地方では大雪となった時期があり、新潟市では 2 月上旬に 81 センチの積雪を観測するなど、北陸地方の平野部では近年にない大雪となった時期がありました。(気象庁発表)。

各地点の最大積雪深 (9 時積雪深の最大値) は、札幌 95 cm (平年値 109 cm, 2001-2010^{*注1})、新庄 107 cm (128 cm, 1974-2000 年)、長岡 168 cm (142 cm, 1971-2000) および上越 125 cm (118 cm, 1975-2000) となり、札幌と新庄では平均値よりも少ない値となりました。なお、ここで () 内の数値は最大積雪深の平年値とその統計期間を示しています。一方、新潟県内の長岡と高田の観測点では、平成 18 年豪雪時の最大積雪深 (長岡: 156 cm, 高田: 129 cm) を超える値となりました。この 2 箇所の観測点の 24 時間の降雪深 (前日 9:00~当日 9:00) を見てみると、1 月 13 日~1 月 14 日の期間に長岡

で 80 cm, 高田で 70 cm を記録するなど、短期間に多量の雪が降ったのがこの冬の特徴でした。

積雪の初日と終日は、札幌は 11 月 21 日~4 月 15 日、新庄は 12 月 15 日~4 月 4 日、長岡は 12 月 18 日~3 月 30 日、上越は 12 月 18 日~3 月 5 日でした。ただし、これらの期間には途中消雪した日を含んでいます。

データを提供していただいた機関、および担当者は、札幌: (独) 農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター (井上)、新庄: (独) 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所 (阿部)、長岡: (独) 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター (山口)、上越: (独) 農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター北陸研究センター (小南) です。測定方法などの詳細は各機関にお問い合わせください。

(このコーナーは、年 1 回、積雪期が終わった頃に掲載します。)

(山口 悟, 井上 聡, 小南靖弘, 阿部 修)

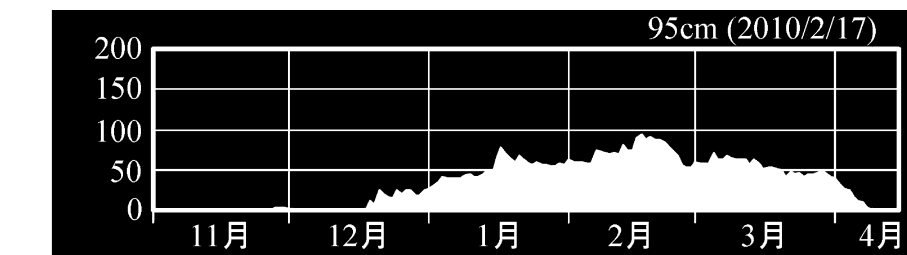
^{*注1} 北海道農業研究センターの露場は 2000 年に場所が移転しています。

<http://ss.cryo.affrc.go.jp/seisan/meteo/KISHOUKAISETSU.html>

(2010 年 6 月 1 日受付)

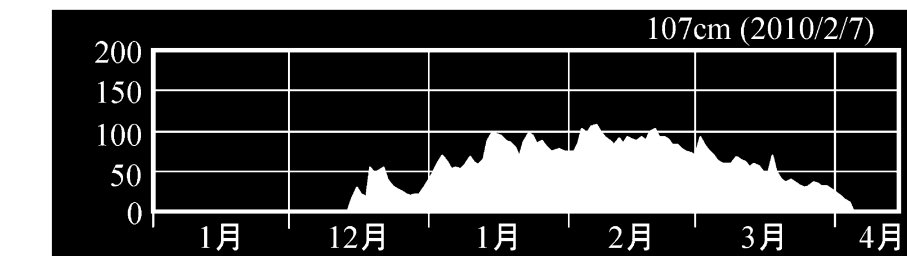


図 1 観測地点.



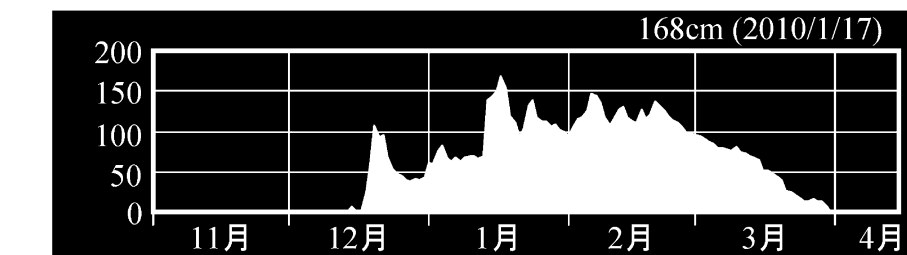
札幌市

(農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター)



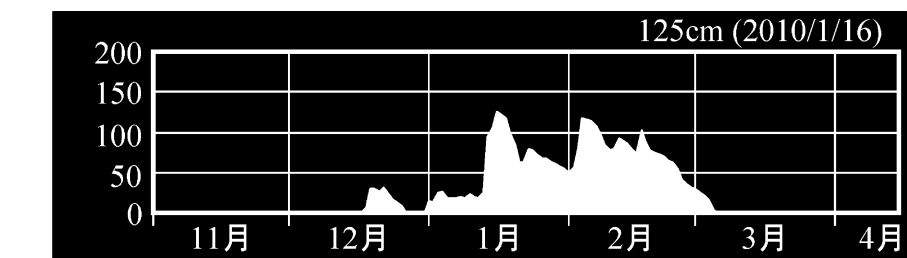
新庄市

(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)



長岡市

(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)



上越市

(農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター北陸研究センター)

図 2 2009/2010 年冬の札幌市，新庄市，長岡市および上越市における積雪深（9 時）変化（単位：cm）．各グラフの右上には最大値とその起日を示す．